

イウカさんの OLÁ, HIKONE!



(olá[オラ]=ポルトガル語で「こんにちは」)

第15回 ボアス フェスタス!

彦根の皆さん、こんにちは!

12月は楽しくて、忙しいときですね。日本人は、忘年会や年賀状やお正月の準備で忙しいと思いますが、ブラジル人もクリスマスや年末のパーティー(忘年会)、クリスマスカードやクリスマスプレゼントの準備などで忙しく過ごします。

この時期、ブラジル人は友達や知り合いと“Boas Festas!”(良いパーティーを!)と声をかけ合います。クリスマスや忘年会、お正月など、いろんなパーティーが多い時期なので、“Boas Festas!”は「メリークリスマス!」や「よいお年を」「あけましておめでとう」など、いろんな意味が含まれます。

ブラジルでは、クリスマス(ポルトガル語でNatal)は家族や親友とともに過ごすときです。日本で迎えるクリスマスは、環境や雰囲気が違うので、少し寂しい感じがします。ブラジル人は、クリスマスなどのおめでたいときには、友達や家族に、心からの笑顔を浮かべて軽く抱いたり、ほっぺたにキスしたりして、「好き」という感情を正直に表現します。

また、離れている友達や親せき、好きな人たちには、クリスマスカードや“Boas Festas!”のカードを送ったりします。もう遊ばないおもちゃや、着なくなった服は、きれいにして貧しい人たちに贈ります。そうして、国中みんなでいいクリスマスが過ごせるように心がけるのです。

ブラジル人は、12月にクリスマスや忘年会などいろいろなパーティーを開いて楽しめます。年齢など関係なく、学校の友達や職場の同僚、趣味のサークルや家族など、いろいろなグループで開かれるので、けっこう忙しくなります。

イウカさんの書いたクリスマスカード
「皆さん、ボアス フェスタス!」



◆ゲームでプレゼント交換

そのパーティーで盛んに行われるのが“Amigo Secreto”(秘密の友達)というゲームです。

このゲームは、みんなでプレゼント交換をするゲームです。ゲームに参加する人は、みんなくじをひき、それぞれプレゼントを贈る人を決めます。パーティーの当日に、参加者はそれぞれプレゼントを準備して参加します。

パーティーでプレゼントを交換するのですが、「これはさんへのプレゼントです」などといきなり発表はしません。「私の秘密の友達は、背の高い人です」とか「笑顔のすてきな人です」などと、少しずつヒントを出して、他のパーティーの参加者に当てさせるのです。正解が出るとプレゼントを渡して、今度はプレゼントをもらった人が「私の秘密の友達は...」とくり返します。

私は子どもの時から、このゲームを毎年しています。たいてい良く知っている15人ぐらいのグループですが、あまり知らなかった人が私と同じ趣味を持っていることが分かったり、意外な発見をするときがあります。みんなで友達のいいところを言い合うので、友達のことがもっと好きになるし、お酒がなくても盛り上がります。

◆波を跳ぶと幸せになる?

11月の中旬から12月になると、ブラジルの都市はクリスマスの飾り付けやイルミネーションで彩られます。それぞれの家庭では、クリスマス・ツリーを飾り、届いたクリスマスカードに目を通します。クリスマス・ツリーは1月6日まで飾っておきます。

クリスマスが終わると、お正月です。お正月には決まった伝統的な行事はなく、それぞれが思い思いに新年を迎えます。たいていReveillonという新年を迎えるためのパーティーが行われます。そのパーティーは家の中でなく、海岸や広場などの広いところで開かれ、みんなでカウントダウンをして新年を迎え、知らない人どうしてもお互いに祝福し合います。リオデジャネイロの海岸では花火大会も開催されます。お正月はブラジルでは夏真っ盛りです。学生たちは夏休みなので、とても幸せな雰囲気です。

私にとって最高のお正月は、たくさんの親せきや友達とビーチで過ごしたときです。ブラジルでは、お正月にみんなで手をつないで7回波を跳ぶと、幸せな1年になると言われています。私も4、5人の友達と挑戦したことがあって、とてもいい思い出です。とても楽しかったけど、ちゃんと7回跳べたかどうかは、忘れてしまいました。

日本でお正月に波を跳ぶとかぜをひいてしまうので、今年は彦根城の鐘の音を聞きながら、世界の皆さんにいいことがあるようにお祈りすることにします。皆さんにも、いいことがありますように。

Ate'o ano que vem! また来年に会いましょう!

(彦根市国際交流員 上甲イウカ)

(「ポルトガル語・最初の一歩」はお休みします。)